

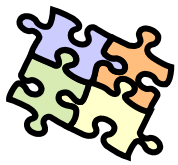
はもりあ

「はもりあ」とは造語で、女性と男性の協働という素敵な“ハーモニー”が奏でられる“中核エリア”という意味です。
2006年10月に公募で決定した男女共同参画センターの愛称です。

2011年2月1日発行

今年度もあと2ヶ月となりました。

はもりあ四日市の今年度事業も大詰めです。今月は、2月19日にさんかくカレッジ「イタリアの男女共同参画とアコーディオン演奏とティータイム」、26日に冬の日のおしゃべり会「私のチャレンジ マダガスカルへ行った話」を開催します。両方とも参加者募集中です！ぜひご参加ください！



“市民力”で男女共同参画の推進を！！

3月1日(火)～12日(土)は **はもりあ週間** です！

【はもりあ四日市は “市民協働” で前進】

「はもりあ四日市」では、講座だけでなく夜間開館業務や電話相談など、多くの事業で市民グループの皆さんと協働をしています。今年度の啓発講座についても、「女性の貧困」、「家族みんなで家事上手」、「働く女性のための未来計画&セルフマネジメント講座」など、市民ニーズに合った様々なテーマで、市民グループの皆さんに企画・運営をしていただきました。市民の皆さんが持っている能力やアイデアを存分に発揮していただくことにより、「はもりあ」の学習機会提供事業は益々充実したものになっていくと考えています。

【はもりあ四日市は “エンパワーメント” を応援】

皆さんは、「エンパワーメント」という言葉を知っていますか？

エンパワーメントとは、「力をつけること、持っている力を引き出すこと」という意味です。

はもりあ四日市では、男女共同参画に関する知識・教養を高める“学び”の機会の提供だけでなく、“**自分自身で道を切り開いていく能力を身につける**”ための機会の提供をしています。一人ひとりの力は小さくても、少しずつ社会的に力をつけ、そして個人個人がつながってネットワークをつくることは、次へのステップにつながる大きな一歩になると思います。これは、女性全体の社会的地位が向上してだけでなく、男性と女性がともに参画していくという男女共同参画の推進に大きな影響を与えることとなります。

【3月1日～12日に “はもりあ週間” を開催！！】

3月1日(火)から12日(土)の約2週間にわたり、登録グループや市民の皆さんとともに、はもりあ週間を開催します。今年度のテーマは、「**めざせ 共同参画！～気づいた今をスタートに～**」です。

8人の有志の方と、はもりあ四日市の職員で企画運営委員会を組織し、講演会部会、チャレンジショップ部会、展示部会に分かれ、よりよい週間をめざして、熱心に企画検討をしてきました。

市民グループの紹介展示、市民グループ主催の18のワークショップ、ネットワークを作りたい、いつか起業をしてみたい人たちによるチャレンジショップ、そして男女共同参画を考える講演会が予定されています。行政は、市民活動を、そしてエンパワーメントする人々を応援する立場にあります。皆さんもぜひ期間中お越しになり、一緒に応援してください！



21年度はもりあ月間
グループ主催のワークショップ

はもりあ週間 エンディング講演会

妻が僕を変えた日

はもりあ週間のエンディングを飾る講演会は、広岡守穂さんです。
5人の子どもの父親であり、おじいちゃんでもある広岡先生。
夫婦関係を保ちながら家事や育児を協力し合うにはどうしたらいいか？
笑いあり、涙ありの講演会です。ぜひお越しください。
講演会の前に女声ボーカルアンサンブル「ミレニアム」による合唱もあります。



ひろおが もりほ
広岡 守穂さん

中央大学法学部教授。1951年生。
佐賀県立女性センター館長、内閣府
男女共同参画会議委員など公職を
歴任。

- 【日時】 3月12日(土) 13:30~15:30
【場所】 本町プラザ 1階ホール
【託児】 無料ですが、事前予約が必要です。
【申込】 電話・ファクス・Eメールで、住所・名前・電話番号を
はもりあ四日市までお知らせください。託児希望の方は、
お子さんのお名前、年齢もお知らせください。

【申込み・お問い合わせ】 はもりあ四日市 (TEL 354-8331 FAX 354-8339)

平成23年度「男女共同参画週間」のキャッチフレーズ募集集中!!

【テーマは「ポジティブ・アクション」です】

地域社会の様々な活動で、女性が多くを担っているにもかかわらず、代表は男性という例がみなさんの周りに思い当たりませんか？日本では、古い固定観念などにより、他の先進国と比較すると、指導的な立場で活躍する女性が少ないのが現状です。この社会の様々な活動に参画する機会の格差を改善するために、必要な範囲において、女性に積極的に機会を提供する取組が必要です。この取組を「ポジティブ・アクション(積極的改善措置)」といい、企業、団体や地域社会などで推進することが必要です。

内閣府男女共同参画局では、下記のとおり、平成23年度の「男女共同参画週間」キャッチフレーズを募集しています。皆さんもぜひ応募してくださいね。

- 1 募集内容 「ポジティブ・アクション」をテーマとしたキャッチフレーズ
- 2 応募資格 どなたでも応募できます。ただし、個人によるものとします。(未発表の自作のものに限る)
- 3 応募期間 平成23年2月25日(金)まで(必着)
- 4 応募方法 官製ハガキ、電子メール、ファクシミリ1通に1作品とし、住所・氏名・年齢・性別・電話番号をご記入の上、下の宛先までお送りください。おひとり何作品でも応募できます。

* 郵送の場合：〒100-8914 東京都千代田区永田町1-6-1

* ファクシミリの場合：03-3581-9566

いずれも、内閣府男女共同参画局総務課「キャッチフレーズ募集係」あて

* 電子メールの場合：<http://www.gender.go.jp/> (男女共同参画局ホームページよりアクセス)



世界の国の男女共同参画



ニュージーランド編

今回は、1893年に世界で初めて、女性参政権を実現した国、ニュージーランドの男女共同参画への取組を紹介します。

【1984年 女性政策省を設立】

男女共同参画先進国であるニュージーランドでは、1972年に同一賃金法、1977年に人権委員会法（現在の人権法。性差別を含む幅広い形態の差別を禁止）など、女性に対する差別を撤廃する法律を制定し、1984年には、女性政策省を設立し、政府全体で女性の地位向上に関する政策を推進する姿勢を明らかにしました。

【女性のための政府重点課題と政策】

ニュージーランド女性のための行動計画には、「持続可能な経済」、「ワーク・ライフ・バランス」、「福祉」等の分野で、女性のために政府が重点的に出すべき成果について明記されています。

また、新しい政策を提案する際にはジェンダー影響分析書を付けなければなりません。これは、政策案が男性と女性に異なる影響を与えるのか、影響があるとすればどの程度なのかを説明するものであり、政府決定に女性のニーズを反映させるためのシステムです。

【リーダーとしての女性】

ニュージーランドでは、日本よりも約半世紀も早い1893年に女性参政権が認められました。しかし、初めて女性が女性国会議員に当選したのは1933年であり、参政権が認められてから40年後のことでした。1943年には女性初入閣し、1997年には男性の首相の退任により初の女性首相が誕生、1999年には総選挙で初めて女性首相が選ばれ、この首相は2008年まで務めました。現在、国会議員の約3分の1は女性です。（世界第6位：2010.10月現在）

今月のおすすめ本

今月は、3月12日にご講演いただく、広岡守穂先生の本を2冊紹介します。この2冊は、「はもりあ」で貸出できます。



ここが違うよ、日本の子育て

この本は、日本で子育てをしている外国人、外国で子育てをした日本人の方々にお話を聞き、日本の子育てを世界の視点から見なおしてみようという意図で作られた本です。生活習慣、しつけ、学校などについて、国ごとに常識が違っていることなどが書かれています。子育て中の方もそうでない方も一度この本をご覧くださいませんか？



男女共同参画社会と学校教育

男女共同参画社会の実現のためには、法制度をはじめとする社会環境づくりや、人々の意識の変化(広がり)が必要です。意識の広がりには、職場や家庭での慣習の見直しも重要ですが、子どものころから男女共同参画意識を持つことが重要です。この本は、大学教授や記者、弁護士など男女共同参画の分野で活躍されている著名人の方々の執筆により、学校教育における男女共同参画の課題がいろいろな角度から取り上げられています。

今月のキーワード

女性メンター制度

ギリシャのお話を語源とするメンターは、良き指導者、支援者、ロールモデルのことを言います。

日本では特に女性を対象としたメンター制度を採用している企業が多くあります。それは、結婚や出産や子育てなど女性ならではの問題や、まだまだ男性中心の企業文化の中で、社内人脈を築きにくく、適切な相談相手を見つけることが難しいこと、将来像として描ける女性管理職が少ないことなどが理由としてあげられます。

メンターは、利害関係が絡まないよう直接の上司以外が当たることが多く、悩みや不安を抱えた際に身近な良き先輩として相談に応じ、成長を側面から支援する存在です。

この女性メンター制度によって、女性は刺激を受け、勇気づけられ、仕事上での自分の未来を具体的にイメージできるようになります。その結果、仕事に前向きに取り組める、女性社員の定着率が向上する等、企業の活性化が期待できます。



登録グループイベント情報

- 2月18日(金) 『新川和江*金子みすゞを読む』*本質的な問い*広大無辺な宇宙
『わたしを束ねないで』『大漁』『私と小鳥と鈴と』他を読みます。講師は河原徳子さんです。予約は不要です。当日お越しください。
時 13:30～15:30 所 本町プラザ2F 第1会議室 費 500円
問 よっかいち朗読文学の会 奥田 (TEL321-8468)
- 2月20日(日) 『ハンドメイド展 ソワマルシェ』in Atelier Soi
ビーズ・革アクセサリや暮しに役立つ小物、素材にこだわった天然酵母パン・お菓子、リネン・ワッフル素材の布小物、見ているだけでホッと癒しのグッズなど手作りの作品を多数取り揃えています。お気軽にお越しください。
時 10:00～15:30 所 アロマ&ハーブショップ アトリエソワ(諏訪町 6-11-102)
問 シューフルール 小松 (TEL080-5132-3565)
- 3月6日(日) 歌と遊びの講演会『体も心も大きく深呼吸!』
喘息治療に有効な腹式呼吸を無理なく楽しく学びながら身につけませんか?喘息がある、ないに関わらず大人や子ども、寄っといで!笑いあふれる楽しいレクチャーです。
時 10:00～12:00 費 ひとり200円 所 なやプラザ3階 大音楽室
問・申 あれるぎっこおひさまの会四日市 吉武 (メール rinasaoji@docomo.ne.jp)

登録グループ紹介

はもりあ四日市に登録されているグループさんを紹介します。今回は人財ポケットよっかいちさんです。

人財ポケットよっかいち

代表 松井 真理子 会員数 200名
連絡先 059-363-3667

「人財ポケットよっかいち」は、団塊の世代を中心にした社会貢献型人材バンクです。会員の方は、仕事で培った知識、経験や技術を活かし、環境、まちづくり、子ども支援、国際交流などさまざまな分野で活動しています。男性会員も多く、みなさんイキイキとした表情で、自分も楽しみながら活動されています。

会員登録をされた方には、活動案内の「ポケット通信」とボランティア活動紹介の

「ニーズ情報」を定期的にお届けしています。

社会貢献に意欲のある方、一緒に活動しませんか!



新丁ひろば駐車場のご案内

旧第一勧業銀行跡地に、市営の「新丁ひろば駐車場」ができたのをご存知ですか?

はもりあ四日市ご利用の際に、市営本町プラザ付属駐車場(本町プラザ南の立体駐車場)・市営本町駐車場(ハローワーク北)とともに、ご利用いただけます。 駐車場は、すべて有料です。



四日市市男女共同参画センター (はもりあ四日市)

〒510-0093 四日市市本町 9-8 本町プラザ3F

TEL.059-354-8331 FAX.059-354-8339

●開館時間 AM9:00～PM9:00

●休館日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始

Eメール kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp

<http://www.city.yokkaichi.mie.jp/danjo/index.shtml>